

使用条件

◇折戸1組の総質量: AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ: 24mm以上

◇折戸1組の戸幅: 800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限りです。3枚以上の連結はできません。

- コンパクトなレールを使用して30kg(折戸1組)までの折戸に対応できます。

金具が戸の裏面側に付くタイプのため、木口面にR面やC面加工をすることができます。

- 直付用下部レールHD-07は、下枠への掘込加工が不要です。

レールの高さが低い(3.1mm)バリアフリー仕様です(AFD-120はレール高さ12mm)。

■金具の使用場所

AFD-3110

- 上部吊元仮固定用キャッチ

上部レールに後付けできます。



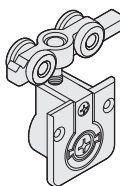
AFD-2800-K

- 上部吊り車(金属ベアリング入)

AFD-2800

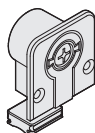
- 上部吊り車

戸を吊ったままの状態、専用スパナ(AFD-600)により戸の上下調整ができます。



AFD-4000

- 下部ガイド



HR-300

- 下部吊元仮固定用キャッチ

下部レールに後付けできます。



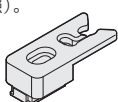
または

HD-74

- 下部吊元仮固定用キャッチ

HD-07に後付けできます。

※AFD-110またはAFD-120を使用する場合に比べて、戸と下部レールのすきまが広くなります(792ページ参照)。



AFD-1500 または AFD-1300

- 上部レール

- 掘込用上部レール



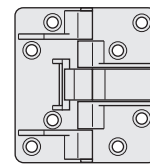
HD-35

- 収納折戸用丁番

裏面付け。掘込加工不要。

折戸の開き角度0°の時に、165°~180°の範囲でキャッチが効いて自動的に開閉します。

キャッチが効いているため開閉時に戸がぶつきます。



※丁番はHD-35以外にも多種揃えてあります。416~417ページをご覧ください。

AFD-110 または AFD-120

- 掘込用下部レール

- 直付用下部レール



- 直付用下部レール



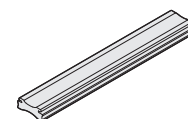
表側

収納側

HD-76

- 走行安定用スペーサー

戸の開閉方法がフリーオープンタイプの場合で、戸の開き角度50°で仮ストップする機構を持たない丁番(HD-35など)を使用する場合に必要になります。



■使用金具例

使用金具の種類	上部レール	下部レール	下部レール	上部吊り車	下部ガイド	上部吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	下部吊元仮固定用キャッチ	走行安定用スペーサー	丁番	価格(税抜)
	AFD-1500	AFD-110	HD-07	AFD-2800-K	AFD-4000	AFD-3110	HR-300	HD-74	HD-76	HD-35	
折戸の形式											レールはアンバーを丁番はGB色を使用の場合
1組	900mm*	900mm*	—	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	—	1ヶ	3ヶ	¥20,600
	900mm*	—	900mm*	2ヶ	2ヶ	1ヶ	—	1ヶ	1ヶ	3ヶ	¥20,440
2組	1,820mm	1,800mm	—	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	—	2ヶ	6ヶ	¥34,000
	1,820mm	—	1,820mm	4ヶ	4ヶ	2ヶ	—	2ヶ	2ヶ	6ヶ	¥33,880

*レール1,820mm、1,800mm(定尺品)をカットしてご使用いただけます。